

2018年4月6日

やわらか 3D 共創コンソーシアム

国立大学法人山形大学

株式会社早稲田大学アカデミックソリューション

## ＜プレスリリース＞

“新規革新的材料の実用化を 30 年から 3 ヶ月へ”のものづくり革命を実現する

### 「やわらか 3D 共創コンソーシアム」設立のお知らせ

#### 1. やわらか 3D 共創コンソーシアム設立

山形大学では、4月6日(金)に、3Dゲルプリンティングの世界的トップランナーである古川英光(学術研究院教授(機械・高分子・ソフトマター))を会長とする「やわらか 3D 共創コンソーシアム」を設立いたしました。

本コンソーシアムは、3Dプリンティングとものづくりの情報産業化(デジタルファブ리케이션)により、①“新規革新的材料の実用化を30年から3ヶ月へ”のものづくり革命を実現させる研究開発・イノベーション創出拠点を形成すること、②中小ものづくり企業を巻き込み、我が国発の新産業創出により地域創生へ寄与すること、③未来のものづくり人材を育成することなどを目的に、産官学の多様な機関が集い、アイデアづくりから製品化・産業化を実現するためのオープンな場として、山形大学を中心とする10社(同日時点)によって設立したものです。

本コンソーシアムでは、5つの部会(食品、医療、ゲル、モビリティ、ロボティクス)を設置し、従来、個々の企業が個別に新製品検討を進めることで最終製品となるまでに長期間を要していたものを、山形大学と川上企業から川下企業までが一堂に会して“共創”するとともに、3Dプリンティングとデジタルファブ리케이션を活用することで革新的に短縮することを目指します。2018年度については、6月～7月頃に第1回の部会活動などを進めていく予定です。

#### 2. キックオフシンポジウム開催

同日、コンソーシアムの設立を記念し、「やわらか 3D 共創コンソーシアム キックオフシンポジウム」を開催しました。産官学より91名が参加した会場(キャンパス・イノベーションセンター東京1階 国際会議室)では、3Dプリンティングとデジタルファブ리케이션を軸にした、産官学共創によるこれからのものづくりについて議論されました。

来賓にお迎えした千嶋博様(内閣府 政策統括官(科学技術・イノベーション担当)付 産業技術・ナノテクノロジーグループ 政策企画調査官)のご挨拶に続いて、本コンソーシアムの会長を務める古川英光(山形大学学術研究院教授)が講演。「新規革新的材料の実用化を30年から3ヶ月へ」と題し、3Dプリンティングとデジタルファブ리케이션を軸としたものづくり革命や、本コンソーシアムの戦略などについて説明しました。

また、トヨタ自動車レクサス・GS やプリウスα、伊勢神宮“式年遷宮”などのTVCMを手掛けた世界的クリエイティブ・ディレクター、マンジョット・ベディ氏(詳細なプロフィールは別紙参照)が、本コンソーシアムのロゴおよびそのコンセプトを発表したほか、佐々木直哉氏(内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)革新的設計生産技術担当 プログラムディレクター)からは、「SIP革新的設計生産技術からの期待」と題して、本コンソーシアムに対する期待などについてお話しいただきました。

パネルディスカッションでは、古川教授をファシリテーターとして、産官学の有識者の皆様と、世界との競争に打ち勝つ我が国のこれからのものづくりについて、また本コンソーシアムによる革新的製品や新産業創出について活発な議論が行われました。

#### 古川教授コメント

産官学の多くの方のご賛同を得て「やわらか 3D 共創コンソーシアム」を設立できましたこと、深く感謝申し上げます。私たちの取り組みに寄せられた高い期待に応えられるよう、このコンソーシアムを世界に伍する研究開発・イノベーション創出拠点へと成長させていく所存です。また、中小ものづくり企業にも参加いただいて、山形・米沢をはじめ我が国の様々な地域での新産業創出・地域創生に貢献したいと考えております。

写真、資料抜粋

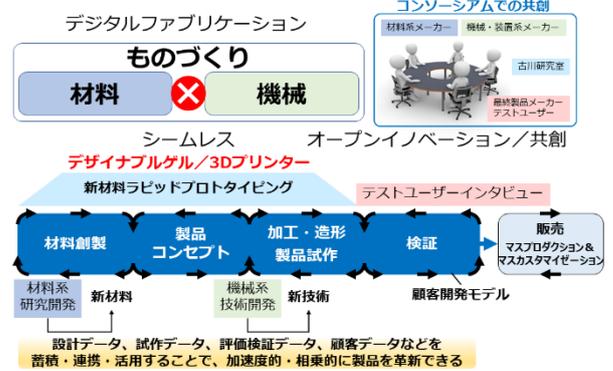


小山 清人(山形大学 学長) (動画)



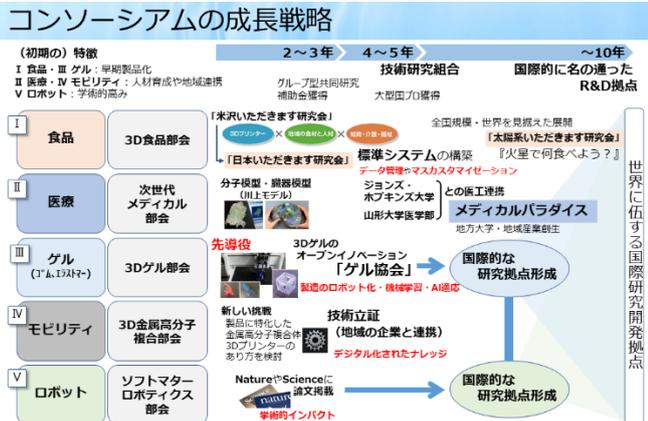
千嶋 博氏

(内閣府 政策統括官(科学技術・イノベーション担当) 付  
産業技術・ナノテクノロジーグループ 政策企画調査官)  
材料30年から材料3か月へ(プラットフォーム構築)



古川 英光教授

趣意書「新規革新的材料の実用化を30年から3ヶ月へ」



趣意書より「コンソーシアムの成長戦略」



ロゴマーク発表：古川教授、マンジョット・ベディ氏



佐々木 直哉氏

(内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) 革新的設計生産技術担当 プログラムディレクター)



パネルディスカッションの様



小野寺 忠司教授

(山形大学 国際事業化研究センター センター長 )



集合写真

# マンジョット ベディ

bedi@jots.jp

## PROFILE

インド・ニューデリー生まれ。  
外交官の父の仕事で2歳より世界各地を巡り17歳で来日。

1997年 広告会社の株式会社ティー・ワイ・オーに入社。  
クリエイティブ・ディレクターとして数々のCMを制作。  
2006年より同社クリエイティブチーム 1st Avenue の代表として  
トヨタ自動車をはじめとした日本企業の新興国戦略に携わる。  
グローバル企業のコミュニケーション全般のプランニングから演出、  
そしてムービー・スチールのカメラマン、照明まで  
『一貫したクリエイティブ』を手掛け光と影が織りなす線を美しく見せる。  
2008年 仕事で頻りに愛知に訪れていた際に 薦められた伊勢神宮に立ち寄る。  
足を踏み入れた瞬間に その美しさに感銘を受け 思わず涙が出るほど感動した。  
それから数年間 伊勢神宮に通い続け、2013年の『伊勢神宮・式年遷宮』  
広報本部の活動を担うことになる。  
2015年3月からは『認知症カフェ』の第1号店、“as a cafe”のトータルプロデュースを担う。



*Manjot Bedi*

2017年 新会社「株式会社 just on time」を設立。  
代表取締役社長として 将来を見据えた新しいクリエイティブ・ブティックの  
あり方を提唱・実践し業界に新たな潮流を吹き込む。

外国人だからこそ判るニュートラルな視点。  
トヨタ、伊勢神宮などをブランディングしてきたマンジョット・ベディが  
デザインのコミュニケーションに繋げて  
社会に役立つクリエイティブを生み出し  
社会貢献や町興しのプロジェクトなど日本の未来の問題に取り組んでいる。



Ise Jingu



as a cafe, Kumamoto



LEXUS

Major Clients:- Toyota, Lexus, Marubeni, NTT DoCoMo, Miss Paris, Dandy House., 観光庁、  
伊勢神宮、P&G、NHK、栗田工業、NEC、UNILEVER、など

bedi@jots.jp



# YAWARAKA 3D

Soft 3D Co-Creation Consortium

## ロゴマークについて

### ロゴに込めた思い

- ・ たくさんの色と光が重なり合うことで生まれる透明感と立体感を感じさせるロゴは、この3D技術の輝く未来と大きな希望、限りない可能性を表現しています。
- ・ 「C」をモチーフにしたゲルをイメージさせるオブジェクトを用い、それを3つ組み合わせることで「3」と「S」が浮かび上がるロゴに仕上げています。ここにはプロジェクトを表すSoft、3D、Co-Creation、Consortiumの全ての要素が入っています。
- ・ 向きの違う「Cモチーフ」は、新しい価値観・将来性を生み出そうとする人々の意味もあります。それをガッチリと組み合わせることで、手を取り合い協力する様子を表現しています。
- ・ 「YAWARAKA 3D」は、文字をやわらかくリズムカルな形状にすることで、遊び心とやさしさ、ワクワク感を表現しています。また落ち着きを感じさせる佇まいにすることで、安心感と信頼性をプラスしました。
- ・ Aの横棒を右肩上がりのカーブにすることで、さらなる価値の上昇や未来に続く成長を表現します。また困難を飛び越えていく姿や、世界の架け橋になっていくという決意も合わせて表現しました。
- ・ YAWARAKAにある4つの「A」は、山形(YAMAGATA)とリンクします。Aには「山」のイメージを重ねました。さらにまっすぐ上を向く形状に、山形の地から素晴らしい技術を世界に発信するという意味を込めています。



YAWARAKA 3D

Soft 3D Co-Creation Consortium



YAWARAKA 3D

Soft 3D Co-Creation Consortium

## 株式会社早稲田大学アカデミックソリューションについて

当社は、「新たな価値創造を通じて、大学と社会の未来を拓く」という理念のもと、大学の研究推進を通じた「知」の社会還元を目指して、研究プロジェクトの各段階に向けたサービスを提供する企業です。本コンソーシアムにおいては、事務局として設立企画からその後の運営にかかる支援を担っております。本コンソーシアムでの活動を通じて、ものづくり革命の実現に向けた産官学共創に貢献させていただく所存です。

### 【本件に関する資料・写真請求先、問い合わせ先】

やわらか 3 D 共創コンソーシアム事務局（株式会社早稲田大学アカデミックソリューション内）  
担当：神谷、高輪(たかわ)、田部井(たべい) Tel：03-3208-0102 E-mail: soft3d-c@w-as.jp  
URL：https://soft3d-c.jp/ Facebook ページ：@soft3dconsortium